

巻頭インタビュー

女性が楽しい毎日を送るために

～日中の交流活動を軸として～



秦 哲一さん

中華人民共和国出身

仙台市青葉区在住

みやぎきょうかじんじょせいいれんぎかい
宮城華僑華人女性聯誼会会長

——まず、ご出身と留学のきっかけを教えてくださいませんか？

上海(シャンハイ)出身です。20歳まで上海で暮らしていました。高校卒業後、地元の大学に進学して中国医学を勉強していたのですが、外国に行ってみたいという強い気持ちがあったことやちょうどその頃、私費留学が盛んになってきたことなどから、思い切って中退し、留学することにしました。留学先に日本を選んだのは、距離が近く、叔父がいて困ったときには頼ることができると思ったからです。

——留学生生活はいかがでしたか？

日本語学校に2年通った後、横浜市立大学に入学し、商学を学びました。学内には留学生が自由に出入りできる留学生交流室という部屋が用意されていて、学生課がスキー旅行など様々な企画を催して下さるという恵まれた環境の中、楽しく、快適な留学生活を送りました。当時、新入学留学生は毎年20人ほどしかおりませんでしたので、留学生仲間とは国籍を問わず仲良くなり、強い絆で結ばれました。

——卒業後は、日本で就職されたのでしょうか？

横浜市内に本社がある小さなサッシメーカーに、初めての外国人社員として就職しました。中国とのビジネス上の関係を強化していきたいというのが会社の方針で、中国人である私は大事にされ、本当によくしていただきました。就職後に、大学時代の留学生仲間だったフィンランド人と結婚し、出産もしたのですが、中国出張の際には会社が息子の分の航空券も用意してくれました。まだ小さかった息子連れて出張したのは、懐かしい思い出です。

——充実した生活を送っていらっしゃったんですね。どうして、仙台に来られることになったのでしょうか？

当時、会社員だった夫が、仙台に転勤になったからです。私の勤務先もたまたま仙台に事務所を持っていたので、私も同時に仙台に転勤しました。ところが、東日本大震災の後、私の勤めていた事務所が閉鎖され、仕事がなくなりました。ただ、その頃には日本での生活が長くなり、言葉の不自由もなくなっていましたので、「何か私にできることがあるのではないか」と思いました。それで、被災地の外国人支援や通訳など各種のボランティア活動を始め、悩み事を抱える方々からの電話相談に関する業務にも携わるようになりました。



和服の着付け体験

——宮城華僑華人女性聯誼会(以下、宮華女)は、どういう経緯で発足したのでしょうか？

仙台で2016年9月に開かれた東北初の中国の映画祭が、発足のきっかけになりました。映画祭では、一人っ子政策が長く続いた中国ならではの教育事情をテーマにした作品や今どきの中国の若者の日常を描いた作品など、日本では見る機会の少ないバラエティに富んだ中国映画が上映され、大いに盛り上がりました。そして、映画祭の開催に協力した中国出身の女性達から、「日中の交流活動を日常的に行いたい」、「自己研鑽もできる女性ならではの団体をつくろう」といった声が上がリ、2016年10月に宮華女が発足しました。

——どんなことをしていいらっしゃるのですか？

これまでに、春節(旧暦の正月)を祝う文化祭や中国にルーツを持つ子ども達向けの中国語サロン、和服の着付け体験などを行いました。県内各地のイベントに向向いて中国の伝統的な踊りを披露したり、焼き小籠包など中華料理のブースを出展したりもしています。

——活動の手応えはありますか？

人前に立つことで、会員の女性達が楽しみながら、自信を得る良い機会になっていると感じます。仕事で忙しい男性と比べると、時間に余裕があるように見えますが、女性は家事や育児、自分自身の生き方などで悩みがちです。子どもの進学など、外国人保護者には対応が難しいことも乗り越えなくてはなりません。宮華女では、育児相談会や親睦会も行っていて、ひとりで悩むのではなく、助け合い、学び合い、一人ひとりがパワーアップしていこうと活動しています。

——最後に、抱負を教えてください。

中国出身の女性達の就労支援に取り組みたいです。比較的年齢の高い会員の中にはパソコン操作が苦手な人もいますので、就労支援の一環として、パソコン教室を開きたいと考えています。中国人は県内に住む外国人の中で最も数が多いですし、将来的には県内で大規模な中国のフェスティバルを開き、日中の草の根交流の一翼を担うことができれば嬉しいです。中国出身の女性達が、楽しく充実した生活を送り、地域社会にも貢献できるように、皆で協力してこれからも頑張っていきたいと思っています。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2019年4月～5月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2019	4	S	M	T	W	T	F	S	5	S	M	T	W	T	F	S
	4								5				1	2	3	4
		7	8	9	10	11	12	13		5	6	7	8	9	10	11
		14	15	16	17	18	19	20		12	13	14	15	16	17	18
		21	22	23	24	25	26	27		19	20	21	22	23	24	25
		28	29	30						26	27	28	29	30	31	

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方

主催

会場

時間

申し込み

参加費

電話

FAX

Eメール

ホームページ

4月 APRIL

中旬 日曜日

※開催日は開花状況により決定。
HP・facebookでご確認下さい。

お花見ピクニック

仙台日仏協会・アリアンス・フランセーズ

錦町公園

午後

要(電話・FAX・メール)

無料(各自一持ち寄り。飲み物の用意あり)

022-225-1475

022-225-1407

contact@afsendai.com

http://www.afsendai.com

7・14・21・28・29日

瑞巖寺ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

瑞巖寺

10:00～15:00

不要(直接現地へ)

入館料700円は自己負担

http://www.matsushimagw.club

7・14・21・28日

円通院ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

円通院

10:00～15:00

不要(直接現地へ)

入場料300円は自己負担

http://www.matsushimagw.club

9日

MIA日本語講座夜間初級1・2クラス

公益財団法人宮城県国際化協会

宮城県仙台合同庁舎 7階

18:30～20:30(毎週火)

要(電話・FAX・メール)

12,000円(テキスト代別)

022-275-3796

022-272-5063

mail@mia-miyagi.jp

http://mia-miyagi.jp

16日

MIA日本語講座初級1・2クラス

公益財団法人宮城県国際化協会

10:00～12:00(毎週火・金)

24,000円(テキスト代別)

022-275-3796

022-272-5063

mail@mia-miyagi.jp

http://mia-miyagi.jp

MIA日本語講座中級クラス

公益財団法人宮城県国際化協会

13:00～15:00(毎週火・木)

12,000円(テキスト代別)

022-275-3796

022-272-5063

mail@mia-miyagi.jp

http://mia-miyagi.jp

17日

申請取次行政書士による外国人のための

入管手続無料相談会

宮城県行政書士会

仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場

13:00～16:00

電話受付または予約なしでもOK

無料

022-261-6768

022-261-0610

18日

歴史の時間と物語の時間

一砂漠のマリアとマザー・テレサの心の闇

アフリカ・セミナーの会

仙台国際センター 交流コーナー 研修室

10:00～12:00

不要

1,000円

022-362-7907

19日

MIA日本語講座漢字1・2クラス

公益財団法人宮城県国際化協会

13:00～15:00(毎週金)

7,200円(テキスト代別)

022-275-3796

022-272-5063

※夜間初級1・2クラスと同じ

21日

歩いて巡る地域歴史散策～第46回仙台三十三

観音巡り～第三行程26番～33番札所

NPO法人楽遊ネットワーク宮城

集合場所:①JR南仙台駅前1番バス乗り場

前 ②31番札所落合観音堂(四郎丸)

集合時間:①8:00 ②8:45

※9:00出発～15:00解散予定

要(電話・FAX・メール)

一般2,500円 会員2,000円

(保険料・小冊子込)

022-261-9869

022-261-0546

eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp

http://www.eikaiwa-sendai.jp/rakuyuu.html

留学生のためのリサイクル自転車販売会

SENDAI留学生自転車リサイクル事業推進

協議会

仙台国際センター 交流コーナー 研修室

10:30～

不要

無料(留学生のみ参加可。但し、2020年3月

以降も滞在予定の留学生優先)

022-268-6260

Easter Party

NPO法人MISO

塩竈市公民館 ホール

11:00～

要(電話・FAX・メール・Googleフォームな

どのSNS)

無料

022-385-5626

FAX 022-385-5965

npomiso@carleikaiwaschool.com

www.npo-miso.jp

またはfacebook@NPOMISO

5月 MAY

3・4・5・12・19・26日

瑞巖寺ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

022-275-3796

※4月の瑞巖寺ボランティアガイドと同じ

5・12・19・26日

円通院ボランティアガイド

松島善意通訳者の会

022-275-3796

※4月の円通院ボランティアガイドと同じ

12日

歩いて巡る地域歴史散策～第47回仙台三十三

観音巡り～第一行程1番～11番札所

NPO法人楽遊ネットワーク宮城

集合場所:仙台市地下鉄東西線川内駅前

集合時間:8:45

※9:00出発～15:00解散予定

022-275-3796

※4月21日と同じ

第34回東北大学国際祭り

東北大学留学生協会(TUFSA)

東北大学100周年記念会館(川内萩ホー

ル)前

11:00～16:00

不要

入場無料 ※3枚1組の食券は当日券1,500

円(前売り券1,200円)

tufsacontact@gmail.com

https://www.tufsa.net

15日

申請取次行政書士による外国人のための

入管手続無料相談会

宮城県行政書士会

022-275-3796

※4月17日と同じ

16日

エチオピアの地下足袋をはかる

アフリカ・セミナーの会

022-275-3796

※4月18日と同じ

19日

C・C・Eまつり「五月晴れコンサート」

(ソプラノ・ファゴット・オーボエ・ピアノ)

地球の子ども通信(CCE)

日立システムズホール仙台 交流ホール

14:00～16:00

要(電話・FAX・メール)

無料

022-376-5382

nra55237@nifty.com

http://www.cce-sendai.jp/



「多文化な子どもたちの支援について考えるシンポジウム」を開催しました。

「多文化な子どもたちの支援について考えるシンポジウム」(主催: (公財)宮城県国際化協会)を、2月16日に仙台市内で開催しました。

新たな外国人材の受け入れが決まるなか、様々な文化的背景を持った人々とのように共生するかが社会の大きな課題となっています。シンポジウムは、多様化する社会を支える人材ともなりうる外国籍の子どもたちの支援のあり方について考えるのが目的で、参加者は、支援に関わっているボランティアや学校関係者など、県内外の約50人でした。

前半は、外国籍の子どもたちの日本語学習や教科学習、進学のための支援を県内で長年行っている「外国人の子ども・サポートの会」代表の田所希衣子さんが、講演しました。田所さんは、具体的な事例を挙げながら、来日したときの年齢によって必要となる支援が異なることを説明し、「周りにいる人々が、その子がどういう力を持っているとよいか考え、その子の可能性を広げてあげられるような支援をするとよいのではないか」と話しました。次に、中学生のときに来日した後、同会の支援を受けて高校と大学に進学し、現在は社会人として働く中国出身の男性が、来日間もない頃の戸惑いや学習上の困難、大学受験や就職活動の乗り越え方などを、ユーモアを交えて語りました。また、現在は支援する立場となり、外国籍の子どもたちから相談を受けたり、助言をした



りしていることも紹介しました。

後半は、県内で外国籍の子どもたちの支援を行っている公益財団法人や民間団体の関係者がそれぞれ、取り組んでいる活動の内容や支援事例を紹介しました。

参加者は、相槌を打ったり、メモを取ったりしながら熱心に話を聞き、外国籍の子どもたちへの支援の意義やそのあり方について理解を深めました。

多文化なトピック

新しい在留資格「特定技能」をご存じですか？

在留資格は、外国人が日本に中長期間滞在するために必要な資格で、「外交」、「留学」、「日本人の配偶者等」など、日本での仕事の内容、日本人との婚姻関係などによって28種類に分けられており、資格ごとに就労の可否や日本に滞在できる在留期間が定められています。

改正入管法の施行により、2019年4月に、在留資格「特定技能」が新設されます。深刻な人手不足に対応するため、一定の専門性と技能を持ち、即戦力となる外国人を受け入れるのが目的で、就労は宿泊、介護、外食など14業種に限られます。外国人の出身国は当面、ベトナム、フィリピン、中国、インドネシアなどに限定される予定です。

「技能実習」との大きな違いは、転職の自由の有無です。「技能実習」は転職が認められていませんが、「特定技能」は条件を満たしていれば、転職することができます。

「特定技能」は、1号と2号に分かれています。1号は、在留期間は通算で最長5年、家族の帯同は基本的に認められません。基準を満たした技能実習生は、無試験で移行することができます。2号は、熟練した技能が求められ、在留期間の更新に上限はなく、配偶者と子どもの帯同も可能です。

外国人労働者の受け入れ拡大に伴い、出入国在留管理庁が2019年4月に新設される予定のほか、ワンストップ型の相談窓口を全国100ヶ所程度に設置するなど、国内における対応も強化される見込みです。



JICA東北からのお知らせ

所在地 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル20階

TEL 022-223-4772 FAX 022-227-3090 E-mail thictpp@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています)

JICA東北/二本松・教師海外研修 参加者募集中

JICAでは、教員の皆様方に、開発途上国の置かれている状況や国際協力への理解を深め、教育に役立てていただくことを目的として「教師海外研修」を実施しています。東北から今年度の訪問国はアフリカのタンザニア連合共和国!

【応募】

ホームページで応募条件等をご確認のうえ、5月7日(火) JICA東北必着で応募書類をお送りください。詳しくは「JICA東北 教師海外研修」で検索ください。

お問い合わせ: JICA東北市民参加協力課 022-223-4772 thictpp@jica.go.jp



タンザニアの子どもたち



MIA日本語講座2019年第1期開講!

4月からMIA日本語講座が始まります。身近に日本語を勉強したい外国人がいらしたら、ぜひご紹介ください。多言語(日英中韓越)のチラシも用意しています。

クラス	曜日	時間	期間	テキスト	受講料	定員
初級1・2	火～金	10:00～12:00	4月16日(火)～9月17日(火)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥24,000 ※テキスト代別	初級1・2 各20人
中級	火・木	13:00～15:00	4月16日(火)～9月12日(木)	『中級へ行こう 日本語の文型と表現55』	¥12,000 ※テキスト代別	20人
漢字1・2	金	13:00～15:00	4月19日(金)～9月20日(金)	『どんどんつながる漢字練習帳 初級』 『どんどんつながる漢字練習帳 中級』	¥7,200 ※テキスト代別	漢字1・2 各20人
夜間初級1 夜間初級2	火	18:30～20:30	4月9日(火)～9月24日(火)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥12,000 ※テキスト代別	初級1・2 各15人

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

『地方発 外国人住民との地域づくりー多文化共生の現場からー』

編著者:徳田剛/二階堂裕子/魁生由美子 発行:晃洋書房

執筆者は、研究者や地域国際化協会の職員など多文化共生に関わっている15人です。地方での外国人の受け入れについて、様々な事例を挙げ、現状と課題を示しています。

3部構成で、第1部には、人口減少が著しい中山間地域や外国人が集住する地方都市での受け入れの事例、第2部には、日本語の学習支援や医療福祉サービスなど外国人住民の生活基盤に関わる取り組みが書かれています。第3部は、民族学校の生徒の学習環境や地方の大学で学ぶ留学生の就職の実態など、外国人住民の教育やキャリアの形成についての内容になっています。

東北に関連した記載もあります。第2部第8章では、東日本大震災発生時の当協会の取り組みを踏まえ、地方における災害時の外国人対応について考察がなされており、第10章では、結婚により東北に移住してきた外国人女性が地域社会に適応していく過程が紹介されています。

入管法の改正により、外国人住民は今後ますます増えると予想されています。この本を読むと、外国人とともに暮らす地域で今、何が起きているか理解することができます。外国人と共生する地域社会のあり方について考える良い参考資料にもなるでしょう。



サポーターの声

松井 洋子さん MIA日本語サポーター



松井さん(左)

登録のきっかけは、特別な資格や経験はなくても構わないと聞いたこと、また日本人として生きてきた自分の経験を何らかの形で活かせるのではないかと考えたことでした。

サポート活動の中で特に楽しいのは、「MIA日本語講座 おしゃべりの時間」です。外国人の皆さんの日本語で話す力を高めるお手伝いをする活動で、毎回、「行ってみたいところ」、「料理」などのテーマに沿って、サポーターと外国人の皆さんがグループやマンツーマンでお話をします。日本語力が初級レベルの外国人と話すときは、どの程度の日本語の単語や文法を使っていいか考えながら会話をしなければいけませんので、「難しいな」と思うことがあります。一方で、そうした方が日本語で言いたいことを伝えられたときに笑顔を見せて下さるととても嬉しく、自分が役に立っていると実感できてやりがいも感じます。おしゃべりを通じて、珍しい海外の文化や生活習慣に触れることができるのも面白いです。

「MIA日本語講座 おしゃべりの時間」に参加するようになって、外国人の皆さんがご自身の国についてよく知っていること、それを伝えようとする意欲が高いことに驚き、私も日本という国についてもっと知りたいと思うようになりました。

「MIA日本語サポーター」とは...

日本語を学習したい宮城県内に住む外国人にマンツーマンで日本語を教えるボランティアです。登録者は随時募集しています。詳しくはMIAまでお問い合わせ下さい。

賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

●賛助会員の区分と年会費

個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円

●賛助会員の特典

①協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の
定期送付(年6回)

②当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免

③個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引
宮交観光サービス(株)

④企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供

●入会方法

①本協会あて御連絡ください。
②所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部MIA vol.102

編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通兩宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp



再生紙を使用しています。